



【発行】林野庁 東北森林管理局

住所：青森県西津軽郡鵜ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野 70-82

津軽白神森林生態系保全センター

TEL：0173(72)2931 FAX：0173(72)2932

令和3年度第1回合同パトロールを実施

令和3年度第1回合同パトロールをコロナ禍の中、8月3日火曜日に白神山地世界遺産及び周辺地域において実施しました。

当初、7月26日実施予定でしたが、天気予報で台風8号接近により降雨の確率が高く、安全を最優先させたため一週間遅れの実施となりました。

実施当日は、早朝より天候も良く巡視活動するには最適の条件となりました。白神山地連絡会議構成機関より27名が参加し、全5コースに分かれて巡視・啓発活動を実施しましたので、その模様をお伝えします。

◎1コース・大川コース

青秋林道終点から大川を遡上し世界遺産地域緩衝地域を経て核心地域までを巡視するコースで、参加者5名により巡視活動を実施しました。

大川から、遺産地域のルート25・27に向かうことができるルートで、アクセスしやすいことから入山者の多いルートとなっています。

今年は天候が良く降雨が少なかったためか、タカヘグリでは腰あたりまでの入水で済みました。例年であれば胸ぐらいまでの水深だとか・・・・・・・・。

今回の巡視では、以前使用されていた野営場を確認しましたが、最近の使用形跡もないことから現時点では利用されていないことが確認されました。また、焚火跡等の形跡も無く、その他の違法行為等についても確認されなかったところです。



大川本流を遡上しパトロール



タカヘグリを遡行中（腰まで入水）

◎ 2 コース・ブナ林散策道・暗門の滝コース

白神山地森林整備協力金受付所前広場にて、参加者 5 名により世界遺産を訪れる入山者にパンフレット配布を行いマナー向上への協力を呼びかけしました。この日はコロナ禍中でもありましたが、昨年と比べるとおおよそ 4 倍の 51 人の入山者となりました。

晴天の中ヘルメットをかぶるなど安全対策をし、ブナ林散策道や暗門溪谷へと入山しました。

また、パンフレット配布班とは別にブナ林散策道をパトロールした結果、樹木損傷等の違反行為は確認されませんでした。



ヘルメットをかぶり安全対策した
入山者への声かけ活動



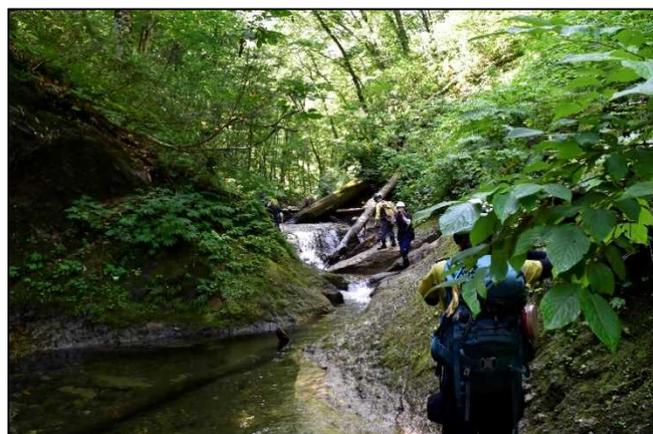
入山者へパンフレットを配布し、
マナー向上等説明

◎ 3 コース・西股沢コース

暗門の滝（第 1 の滝）から西股沢を遡上し世界遺産地域緩衝地域を経て核心地域までを巡視するコースで、参加者 5 名により巡視活動を実施しました。

西股沢から、遺産地域のルート 23・22 に向かうことができるルートで、ここもアクセスが良いためか入山者の多いルートです。

西股沢は全体的に歩きやすかったのですが、途中、写真



西股沢を遡上しパトロール

にあるような小さな滝やゴルジュ（兩岸が迫って狭くなったところ）があり、足を滑らせないように気をつけてパトロールを実施しました。



暗門 第 1 の滝

昨年、カエデが 2 本切られるという違法行為がありましたが、今回の巡視では、焚火跡等の形跡も無く、その他の違法行為等についても確認されなかったところです。

◎ 4 コース・追良瀬川コース

追良瀬川堰堤から追良瀬川を遡上し、世界遺産地域緩衝地域を経て核心地域までを巡視するコースで、参加者6名により巡視活動を実施しました。

追良瀬川から、遺産地域のルート1・2に向かうことができ、白神山頂へ向かうルートとして利用する入山者も多いルートです。

追良瀬川は、全体的に平坦ですが河原の石がゴロゴロしており足元に気をつけながら、遡上しパトロールを行い核心地域まで行き帰路に就きました。

今回の巡視では、焚き火やキャンプ跡・立木への損傷等の違法行為は確認されませんでした。



追良瀬川を遡上しパトロール



足元に気をつけパトロール

◎ 5 コース・白神岳登山口コース

白神岳登山口駐車場にて、参加者5名により世界遺産を訪れる入山者にパンフレット配布を行いマナー向上への協力を呼びかけしました。この日は、6組（学校関係1組）26名の入山者にマナー遵守協力等の呼びかけを行いました。

絶好の登山日和となった白神岳ですが、日中の気温上昇もあり熱中症に注意しながら巡視活動を行いました。

今回の巡視では、立木への損傷等の違法行為は確認されませんでした。

以上で、今回のパトロールの内容を粗々ながらご紹介したところですが、遺産地域内でのマナー違反等については、今回の巡視活動中には、確認されなかったところです。

今後についても入山シーズン中は、白神山地世界遺産地域連絡会議の構成機関により、巡視活動を継続していくと共に、下記の呼びかけも行っていきます。

①決められた道を歩きましょう！

（決められたルートも危険な箇所が多く安易な気持ちで入山しない。）

②動植物を大切に！

（白神山地の自然はみんなのものです。植物を採ったり、踏み荒らさないように。）

③ゴミは持ち帰りましょう！

（野生動物に悪影響を及ぼす恐れがあるので、絶対捨てないで下さい。）

④トイレは適切に！

(トイレは入山前に済ませ、万が一に備え携帯トイレを持参しましょう。)

⑤焚き火は止めましょう！

(山火事の原因になります。火の取り扱いを止めましょう。)

⑥ペットの持込みはやめましょう！

(貴重な生態系に悪影響を与える恐れがあります。)

⑦魚釣りは禁止されています！

(現在、世界遺産地域は全域禁漁区に設定されています。)

白神山地世界遺産地域を訪れる際は、以上のルールを遵守することへの御理解と御協力のうえで、白神山地の雄大な自然をめいっぱい体感していただければと願っております。(田中)

コラム：ブナの名前の由来

みなさんはどれくらいの植物をしっていますか？白神山地にはたくさんの植物が自生しています。代表的なものはもちろん、「ブナ」です。ブナは漢字で「榿」(または山毛榿)と書きます。

なぜ、「木」では「無い」と書くのでしょうか。これにはある説が関係しています。それも含めて、今回はブナの名前の由来について紹介しようと思います。

○ブナ-榿

ブナはその漢字が「木」では「無い」と書きますが、それはブナが腐りやすい木で、加工しても時間が経つと曲がってしまってしまうため、扱うことができない、という意味で「榿」という漢字が当てられました。

現在では加工技術の進歩でブナの木材から作った「ブナコ」と呼ばれる皿や家具などが製作されており、販売されています。



ブナ-榿 (木村)

令和3年度第2回自然再生活動について

9月11日(土)に開催を予定しておりました第2回自然再生活動「元の天然林をめざし、ゆっくり時間をかけて再生への一步」は、青森県内の新型コロナウイルス感染症が拡大したため、参加者の安全確保が非常に難しくなったことから、やむなく中止とさせていただきます。

また、10月23日(土)に開催予定の第2回森林教室については、9月末頃発行予定の白神の絆にてお知らせいたします。